

EPC会社の新提案🔒

2024年04月号 **特集**

金属折板屋根へのオンサイト太陽光提案が一巡し、条件の良い屋根が減ってきたが、EPC会社が新しい提案を始めている。

「受注に対して工事が追いつかない」。

ユニバーサルエコロジーの石田友則社長はそう話す。同社は2023年度に年間約150件の屋根上太陽光発電設備の工事を手掛けた。この1年で従業員を20人増やして60人体制にしたが、仕事量に対して人が足りないのである。

ただ、22年以降、電力代削減の手段として太陽光発電設備の導入が進んだ結果、屋根への提案が一巡したとも言えよう。耐荷重の問題がなく、太陽光パネルを多く載せられる金属折板屋根は確実に減っており、EPC（設計・調達・建設）会社は新たな提案方法を探る段階に入ったのである。

オンサイト太陽光に力を入れるEPC会社

会社名	オンサイトEPCの年間実績	概要
テス・エンジニアリング	32件、42MW	長く製造業向け省エネ提案を手掛け、屋根上太陽光EPCは20年超の実績。顧客の要望に沿ってPPAも提案
エクソル	800件、30MW	PPA会社などからの受託で展開し、24年5月期は1月までに25MW完工。蓄電設備との複合提案強化
エコスタイル	54件、25MW	オフサイトEPC国内大手。オンサイトは大手PPA会社からの受託が中心。太陽光カーポートの導入も始めた
鈴鹿	25件、20MW	電気・土木・建築工事を全てグループ内で請負う。太陽光カーポートの提案を強化し、23年度は5MW完工した
ユニバーサルエコロジー	150件、20MW	2017年に屋根上太陽光のEPCを始め、主にPPA案件の受託で実績を伸ばす。約20社の協力的会社と連携
南国殖産	60件、12MW	九州でEPCを展開。樹脂製パネルの提案に着手したほか、グループの電力小売り会社と省エネ複合提案を開始
ハウスプロデュース	50件、5MW	主に30kW～500kW規模のEPCを請け負う。太陽光カーポートの提案やオフサイトEPCにも力を注ぐ
エネルギークリエイティブ	16件、3MW	樹脂製パネルの施工や1MWの太陽光カーポートの施工に着手。稼働から数年後に売り渡す独自のPPAも提案

※ヒアリングなどをもとにPVeye作成

※実績はおおよその数字